

国立大学法人東京科学大学 調達における基本方針

国立大学法人東京科学大学では、本学が負う社会的責任及び環境方針を指針とし、法令を遵守し高い倫理観をもって公平・公正な調達活動を通じて、基本理念である【「科学の進歩」と「人々の幸せ」とを探究し、社会とともに新たな価値を創造する】を遂行します。



Institute of
SCIENCE TOKYO

1. コンプライアンス

- 東京科学大学は、不正な取引を排除し、社会規律、法令、学内規則等を遵守した調達を実現します。

2. 取引先選定の公平性

- 調達の相手方の選定については、透明性及び公平性を確保した競争を原則とし、競争によることが出来ない場合には、本学の規則に基づき厳格に調達の相手方を選定します。

3. 説明責任

- 東京科学大学は、調達に関する情報を公開し、説明責任を果たします。

4. パートナシップ

- 東京科学大学は、調達の相手方と対等の立場で取引を行うとともに、相互理解と信頼関係を構築することに努めます。

5. 環境配慮

- 東京科学大学は、調達に際し環境に配慮します。

6. 経費節減

- 東京科学大学は、調達の効率化などにより経費の節減を図ります。

1.コンプライアンス

Mission

東京科学大学は、不正な取引を排除し、社会規律、法令、学内規則等を遵守した調達を実現します。

目的・背景

東京科学大学は、社会の一員であることを自覚し、社会規範や法令を遵守し、研究・教育・診療機関としての責務を果たします。

我々は、社会の模範となることを目指し、社会規範や法令及び学内規則を遵守することにより不正・不当な取引を排除し、健全な取引を通じて社会的正義の実現を推進します。

主な取組

- (1) 調達を行うに当たり、関連する法律・規則を遵守し業務を遂行します。
- (2) 調達を通じて知り得た取引先等の機密情報・個人情報を守秘します。
- (3) 第三者の知的財産などの権利を侵害する調達は行いません。

2.取引先選定の公平性

Mission

調達の手先方の選定については、透明性及び公平性を確保した競争を原則とし、競争によることが出来ない場合には、本学の規則に基づき厳格に調達の手先方を選定します。

目的・背景

東京科学大学の運営は、主に国民の税金を原資とする公費及び学生が納付する授業料等から賄われていることを踏まえ、公平な取引の推進が求められます。

我々は、広く契約に関する提案を受け付け、特定の者を利することなく取引先を選定するために、透明性のある競争によることを原則としています。また、競争によることができない場合にも、本学の規則に基づくものとし、恣意的な選定は行いません。

主な取組

- (1) 透明性及び公平性を確保した競争を原則とします。
- (2) 競争により難しい場合は、本学規則に基づき厳正・厳格な業者選定を行います。
- (3) 調達の手先方については、仕様への提案、供給・製造・受託の能力、経営の安定性など合理的な基準に基づき公正に選定します。
- (4) 調達を行うに当たり競争または契約に疑義が生じた場合は、規則に基づき審議し公平性を確保します。

3.説明責任

Mission

東京科学大学は、調達に関する情報を公開し、説明責任を果たします。

目的・背景

東京科学大学の運営は、主に国民の税金を原資とする公費及び学生が納付する授業料等から賄われていることを踏まえ、透明性の確保により社会に対する説明責任を果たすことが求められます。

我々は、調達に関する情報を公開し、社会一般からの疑義等に対して真摯に受け止め、適切な説明責任を果たします。

主な取組

- (1) 法令等に基づいた公表を行います。
- (2) 不正経理防止策を導入し、あらゆる不正の撲滅に努めます。
- (3) 教職員に対する研修等を行い、教職員の意識の向上と浸透を図ります。

4. パートナースhip

Mission

東京科学大学は、調達の手方と対等の立場で取引を行うとともに、相互理解と信頼関係を構築することに努めます。

目的・背景

東京科学大学の研究・教育は、様々な取引先から調達する物品やサービスにより支えられ、国民や社会に貢献しています。そのため、取引先とのパートナーシップなくして、東京科学大学の運営の効率化や社会貢献は実現できません。

我々は、取引先との相互理解に基づく信頼醸成に努め、対等・健全な関係を構築します。

主な取組

- (1) 全ての調達において、誠実な取引を実行し、取引先との良好なパートナーシップを構築します。
- (2) 調達を行う際に生じ得る利益相反に対して適切にマネジメントします。

5.環境配慮

Mission

東京科学大学は、調達に際し環境に配慮します。

目的・背景

東京科学大学は、世界的な課題となっている環境問題に積極的に取り組めます。
我々は、環境に配慮した物品・サービスを優先的に調達することにより、環境負荷の軽減に努めます。

主な取組

- (1) 本学の環境マネジメントに基づき、環境に配慮した調達を推進します。
- (2) 環境物品等の調達を通じ、将来にわたり持続可能な循環型社会の形成に貢献します。

6.経費削減

Mission

東京科学大学は、調達効率化などにより経費の節減を図ります。

目的・背景

東京科学大学の運営は、主に国民の税金を原資とする公費、学生が納付する授業料、診療費等から賄われていることから、限りある経営資源の有効活用が強く求められます。また、経営資源の適正な執行により、研究・教育・診療の進展に寄与します。

我々は、計画的な執行を行い、競争等の実施により適正な調達と共に、より安価な調達に努めます。また、調達手続きの効率化を進め、経費の削減を推進します。

主な取組

- (1) 調達事務の合理化・効率化を図ります。
- (2) 調達等の実施において、柔軟な競争方式・価格決定方法を導入します。